

2021年10月29日

各 位

会 社 名 H.U.グループホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表執行役社長 竹内 成和  
コード番号 4 5 4 4 東証第1部

血漿中の181位リン酸化タウ蛋白を測定する、  
全自動化学発光酵素免疫測定システム「ルミパルス®」用の試薬開発に向けた  
Alzheimer's Drug Discovery Foundation からの資金援助について

当社の連結子会社である富士レビオ・ホールディングス株式会社（代表取締役社長：石川 剛生、本社：東京都新宿区）傘下の Fujirebio Europe N.V.（CEO: Christiaan De Wilde、所在地：ベルギー ヘント）は、このたび、全自動化学発光酵素免疫測定システムである「ルミパルス G1200」および「ルミパルス G600 II」で使用する、血漿中の181位リン酸化タウ蛋白を測定する検査試薬（以下「本試薬」）開発のために、[Alzheimer's Drug Discovery Foundation](#)（以下「ADDF」）から資金援助を受ける契約をADDFと締結しましたのでお知らせします。

181位リン酸化タウ蛋白は、アルツハイマー病との関連が指摘されているバイオマーカーのひとつであり、現在、脳脊髄液中の同蛋白を測定する「ルミパルス G1200」および「ルミパルス G600 II」専用の検査試薬が発売されています。全自動測定システムを用いた本試薬の開発に成功した場合、血漿中の同蛋白の測定がより簡便となることが期待されます。

富士レビオグループは、本試薬の開発を加速させるとともに、幅広く血液を用いた認知症バイオマーカーの開発に取り組んでまいります。

以上

**【本件に関してのお問い合わせ先】**

&lt;メディア関連の方&gt;

広報/サステナビリティ部 広報課 TEL : 03-6279-0884 e-mail : [pr@hugp.com](mailto:pr@hugp.com)

&lt;投資家・アナリストの方&gt;

IR/SR部 TEL : 03-5909-3337 e-mail : [ir@hugp.com](mailto:ir@hugp.com)